

4/12 活発な活動をした
ボランティアさんに記念品を贈呈

毎年行われている生活支援ボランティア養成講座を修了し、ボランティア登録された方のうちの平成30年度に30時間以上の活動をしたボランティアに記念品の贈呈式が役場防災会議室で行われました。式には対象となった20名のうち10名が参加し、意見交換や、中村町長からの労いがありました。

主な活動は、「住民主体の集いの場でのお世話」「配食時での見守り、対話」「隣近所への声かけや除雪など」「バス停の草取り」など自分のできる範囲の活動をされています。

町では養成講座を継続する予定で、活動の広がりにも期待しています。

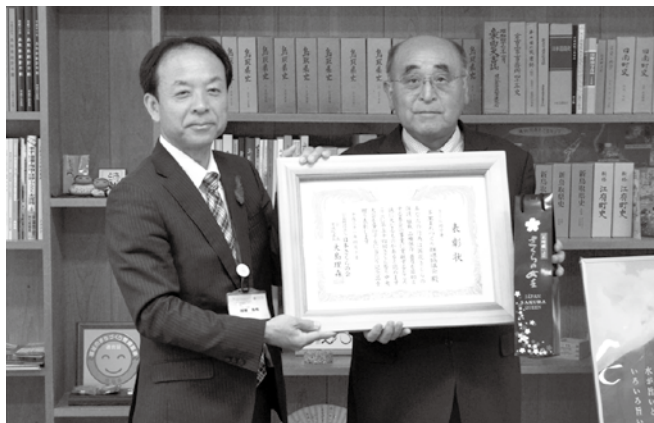


5/7 日ごろの活動が評価されました

「公益社団法人日本さくらの会」がさくらの保護・育成・研究等に尽力した個人・団体を表彰する令和元年度の「さくら功労者」に多里まちづくり推進協議会（榎尾稔正会長）が選ばれ、日野振興センターで表彰伝達式が行われました。

多里まち協では、平成25年から新屋地区の桜公園に植栽されている桜の管理をするほか、夜間のライトアップや空撮、遊歩道の設置などの活動をしており、この活動が評価され今回の表彰となりました。

榎尾会長は「桜公園を知ってもらい、地域の宝になるようにしたい。今後も整備を進め多くの方にきてもらいたい。」と抱負を述べられました。



4/12 自死対策計画を中村町長に報告



日南町自死対策計画が完成し、計画を策定した日南町自死対策推進委員会の入澤眞澄委員長と伊田哲朗副委員長が町長室を訪れ、中村町長に報告しました。この計画は、だれもが自死に追い込まれることなく、生きがいや希望を持って暮らすことのできる町の実現を目的として策定されたものです。町では、県自死対策推進センターや県、ほっと安心日南町こころの健康づくりネットワーク会議などと連携し、自死対策の向上を図るとともに、町を挙げて「生きることの包括的支援」に取り組めます。

4/28 歴史書とセンターの完成をお祝い



福栄地域の歴史書「九塚川ヒストリー」と「福栄地域振興センター」の完成を祝う祝賀会が同センターで行われました。祝賀会では福栄まちづくり協議会の田邊克文会長が完成したことへの謝辞を述べたほか、中村町長などが完成の祝辞を述べました。

また、町の無形文化財でもある福栄「かしら打ち」も披露され、地域を挙げて歴史書とセンターの完成をお祝いしました。

3/31 長い間お世話になりました

西村彰滋さん（萩原）が、平成31年3月末をもって、総務大臣が委嘱する行政相談委員を退任されました。

皆さんの身近な相談相手として、行政などの困りごとに関する相談をお聴きし、助言や関係機関への通知などを行っていただきました。長い間、ありがとうございました。

